正答（例）【中学校国語】

1

一　3

二　4

三　2

2

一　1

二　3

三　4

四　（例）　石川さんが言うように、練習ごとに一つ一つ呼びかけるのがよいと思います。学級のページに載せればいつでもまとめて確認できますが、一つずつ練習の場で伝えた方が、全員が同じ意識で歌えるからです。

3

一　(1)　採（る）

(2)　1

二　（例）風に背中を押されるように

三　2

四　（例）

〈よい点や改善点〉

スケッチブックを「相棒」と表現したのはよかった。しかし、他にもふさわしい言葉があったかもしれない。

〈生かしたいこと〉

読み手の印象に残るように比喩を用いる。その際、選んだ言葉がふさわしいかどうかを考える。

4

一　2

二　（例）ありありと映し出している

三　3

四　（例）　「きっぱり」は、生徒が先生に向かって、自信を持って力強く言い切っている様子を表している。このように、擬態語は話している様子の包括的なイメージを表現することができる。